



# JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

## 日本経営システム学会 第55回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第55回全国研究発表大会は、平成27年9月2日(水)、3日(木)に北九州国際会議場(福岡県北九州市JR小倉駅前)にて開催されます。小倉駅には、黒田官兵や細川藩主で有名な小倉城、松本清張博物館があり、すこし足をのばせば、レトロタウンで有名な門司港が小倉駅から10分ほどの距離にあります。北九州は歴史的な文化都市であるとともに、教科書には工業都市として紹介されており、過去には炭坑や八幡製鉄(新日本製鉄)で有名でしたが、今はロボティクスや自動車産業が集結し、化学やマテリアル、TOTOで有名です。皆様のご参加とご発表を心よりお待ちしております。

### 記

開催日：平成27年9月2日(水)、3日(木)

開催場所：北九州国際会議場〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

交通アクセス <http://www.convention-a.jp/sponsor/kokusai/> (北九州国際会議場へのリンク)

連絡先：実行委員長 和多田淳三(早稲田大学情報生産システム研究科)

E-Mail : [jams2015f@list.waseda.jp](mailto:jams2015f@list.waseda.jp)

主催：日本経営システム学会

協賛：国際経営工学会議(International Symposium of Management Engineering 2015)

※今大会は、国際経営工学会議(<http://www.f.waseda.jp/watada/ISME2015/>)と同時開催です。秋季大会に参加する方は自由に国際会議を聴講できます。また、国際会議の登録者は秋季大会の聴講が可能です。ただし、国際会議で発表する方は、国際会議での登録をお願いします。

特別講演：「IECにおける国際標準化(仮題)」

パナソニック(株)顧問 野村 淳二 博士(IEC会長 ※IEC=国際電気標準会議)(工学博士)

基調講演：中村学園大学、教授 山田 啓一 博士(日本経営システム学会、理事)(経営学博士)

パネル討論：「技術経営と経営システム」(9月3日開催予定)

参加費：会員5,000円、学生会員3,000円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員6,000円、非会員学生4,000円、(当日支払は各1,000円高)

懇親会費：会員5,000円、学生5,000円、協賛学会員5,000円、非会員6,000円(当日支払各1,000円高)

懇親会場：旧松本邸 ※国際シンポジウムと秋季大会の懇親会は、同じ会場で開催します。

昼食：周辺にレストラン有、国際会議場、リーガロイヤルホテル等も利用できます。

宿泊：小倉駅周辺に5000円からリゾートホテルまで多数ありますので、各自でご手配下さい。

発表申込：発表申し込みは、学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> の発表申込フォームから直接申し込みいただくか、ダウンロードした申込書に必要事項を記入の上メール添付で学会事務局 E-Mail: [keieisys@hh.ij4u.or.jp](mailto:keieisys@hh.ij4u.or.jp) へ、7月15日(水)まで(厳守)に申し込みください。本JAMS NEWSの発表申込書を学会事務局宛 Fax. 03-3371-5185 いただいても構いません。

発表原稿締切：pdfおよびword入稿または郵送にて、7月31日(金)まで(厳守)、学会事務局宛

参加申込：次号JAMS NEWSに同封の振込用紙またはHPの振込み方法を参考にして上記金額をお振込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込用紙の控えまたはコピーをお持ちください。

### ■会場設備について

全ての発表会場に PC (Windows7、Office2010) とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用下さい。データは USB メモリーに入れてお持ち下さい。特殊なソフトをご使用の場合は、ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になり準備に時間がかかりますので、ご注意下さい。

### ■大会会場へのアクセス

自動車利用：北九州都市高速道路  
(小倉駅北ランプより 1 分)  
(足立ランプより 8 分)

電車利用：JR 小倉駅より  
徒歩 5 分

空路：北九州空港より 路線バス約 40 分(小倉駅バスセンター下車)



### ■学生発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい（もし、ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい）。

- ・学生セッションの発表は、原則として正会員（一般的には指導教員）との連名とし、ファースト・オーサーは学生とする。
- ・学生発表優秀賞の受賞対象者は、ファースト・オーサーの学生のみとする。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とする。

### ■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則（学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html>）に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と発表の資格：一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。
2. 学生会員の発表条件：学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。
3. 連名者の資格：研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。
4. 発表件数の制約：同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3件目からは1件あたり5,000円を徴収します。
5. 口頭発表者の参加費支払い：口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。
6. 参加費の返還について：既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。
7. 発表のキャンセルと無断欠席：大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

---

## 会長退任のご挨拶

---

日本経営システム学会 第17期会長 石井博昭

このたび、平成27年5月30日を持ちまして日本経営システム学会の会長を退任させていただきました。学会員の皆様のご協力を頂き、大過なく会長を退くことができまして、衷心よりお礼申し上げます。

平成25年6月1日に前会長の松丸正延先生からバトンを引き継ぎまして、会長に就任し、約2年が過ぎました。今回の総会で新会長の小田哲久先生に次のバトンをお渡しした次第です。この間当学会の2年間は学会員の数の減少など厳しいものでした。とはいえ、当学会は他学会にはない特色があります。

1つ目は当学会が3年ごとにハワイで国際大会 ICBI(International Conference on Business and Information)を開いていることです。昨年9月2-4日に3回目として JAMS/JAIMS International Conference on Business & Information 2014 (ICBI2014) “Management Systems for Cooperative Business Applications” を JAIMS, Honolulu, Hawaii, USA で開催し、学問的な成果ばかりでなく大きな黒字を出し、財政的にも当学会に寄与しました。当地の JAIMS(Japan-America Institute of Management Science)Vice present の堀井さま、実行委員長の東京経済大学の佐藤先生はじめ実行委員の先生方の大変なご努力によるものであり、大変感謝しております。ICBI は今後も開催することが理事会で確認されております。

2つめは英文誌 IJAMS(International Journal of the Association for Management System) の Web 化に踏み切り成功したことです。総務委員長の神戸学院大学毛利先生、IJAMS 編集委員長の香川大学板倉先生の多大なご尽力の賜物であります。当学会の和文誌は伝統もあり、認知度も高く博士論文での掲載論文として認められるなど、評価が高いものになっています。一方 IJAMS は創刊後あまりたっていないこともあり、まだまだ投稿が少なく、認知度が低いようですが、この Web 化によりグローバル化され、この状態が改善されることが期待されます。

3つ目は各種規定類を整備したことです。このことでは第17期規定委員長の拓殖大学松岡先生に大変な御労力をおかけいたしました。大変感謝致しております。

4つ目は九州・沖縄支部の設立です。中村学園大学山田啓一先生、早稲田大学和多田先生を始めとする九州の学会員の情熱により設立された次第です。さっそく、第55回全国研究発表大会は、平成27年9月2日(水)、3日(木)に北九州国際会議場(福岡県北九州市 JR 小倉駅前)にて開催されます。

以上のことはもちろんの事、さまざまな学会の業務では理事会の先生方、事務局の小島様をはじめ、皆様には大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。特に第17期総務委員長の毛利先生には面倒ばかりおかけしました。

これからも当学会にはいろいろなことがあるかと思いますが、幸いなことに新会長の小田先生は非常にアクティブで改革の豊富なアイデアをお持ちですので、新しい理事の皆様とともに必ずや学会を発展させていただけるものと期待をしております。

これまで会員の皆様から賜りましたご厚情に感謝いたしまして退任のご挨拶といたします。

---

## 第 54 回全国研究発表大会の報告

---

大会実行委員長 村山賢哉

日本経営システム学会の第 54 回全国研究発表大会が、2015 年 5 月 30 日（土）～31 日（日）、統一論題「グローバル時代の人材育成と経営システム」のもとに、共愛学園前橋国際大学（群馬県前橋市）で開催されました。基調講演として、サンデンホールディングス株式会社 専務取締役 高橋 貢氏に「グローバル時代の経営システム」と題するお話をいただきました。

そして、統一論題で 2 件、自由論題で 63 件（うち学生発表 22 件）の研究発表がなされました。基調講演者、学生ボランティア（20 名）、大学側協力者（1 名）を除き、大会の実参加者は 121 名、懇親会参加者は 59 名でした。今回の大会開催にご尽力いただいた、多くの会員の皆様、理事・評議員の皆様、発表者・司会者の皆様、学会事務局、そして会場を提供いただいた共愛学園前橋国際大学に、この場を借りて深く感謝申し上げます。色々と不手際があり、参加者の皆様にはご不便をおかけした点もありましたが、おかげさまで無事終了できました。ひとえにご参加いただいた皆様のおかげと感謝しております。

群馬県は本学会の会員が少ない県です。今回の大会開催が、群馬県内における日本経営システム学会のさらなる発展の契機となれば幸甚に存じます。

---

### 平成 26 年度第 4 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：2015 年 3 月 25 日（水） 16 時 00 分～18 時 00 分
- II. 開催場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール
- III. 出席者：石井、小田、塩出、金子、佐々木、佐藤、田畑、林、毛利、浅井、上原、椎原、深澤、山下  
（監事）松丸 オブザーバー 今野、川中、村山（敬称略）
- IV. 審議事項
  1. 平成 26 年度第 3 回理事会議事録の確認（毛利）：平成 26 年度第 3 回議事録の内容が報告され、原案の通り承認された。
  2. 会員の入退会（毛利）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、正会員 527 名、学生会員 124 名となった。
  3. 第 54 回全国研究発表大会の準備状況について（村山）：第 54 回全国研究発表大会の準備状況について説明がなされ、承認された。
  4. 第 55 回全国研究発表大会の準備状況について（石井）：第 55 回全国研究発表大会は開催案について石井会長より説明がなされ、いくつかの質疑があった。その内容を実行委員長に伝えて次回理事会にて報告していただくこととなった。
  5. 総会資料作成について（毛利）：5 月 30 日（土）に予定される総会の資料作成に向け各種委員会に資料依頼することが説明され、承認された。
  6. 総会および評議員会の開催について（毛利）：5 月 30 日（土）に予定される総会・評議委員会を開催することが承認された。
  7. 委員会細則改定案について（毛利）：委員会細則改定案について説明がなされ、第 6 条について改訂の意図を確認・再検討するということで継続審議となった。
  8. 支部細則改訂について（椎原）：支部細則の改定案について説明がなされ、改定案を次回総会において審議するということが承認された。
  9. 渉外委員会運営内規（案）について（佐藤）：渉外委員会運営内規（案）について説明がなされ、語句の最終調整を渉外委員長に一任し承認された。
  10. 役員選挙の結果について（毛利）：15 名の候補者全員が信任され、次期会長として小田哲久現副会長（愛知工業大学）が選任されたことが説明され承認された。
  11. 研究室会員の提案について（田畑）：研究室会員制度について提案があり、今後、組織委員会、財務委員会にて検討していくこととなった。
  12. 九州支部設立について（毛利）：九州支部の設立について説明があり、承認された。
  13. IJAMS 原著論文執筆細則について（毛利）：IJAMS 原著論文執筆細則について、メール審議の結

果をメールにて周知を行った 2015 年 1 月 14 日を施行日とすることで承認された。なお次号掲載予定の論文についてはこの IJAMS 原著論文執筆細則に則ることとなった。

#### V. 報告事項

1. 第 53 回全国研究発表大会の開催結果について (小田) : 第 53 回全国研究発表大会の開催結果について報告された。
2. 学生発表優秀賞について (林) : 学生発表優秀賞について報告された。
3. 学会誌編集状況について (金子) : 学会誌編集状況について報告された。
4. IJAMS の投稿状況について (毛利) : IJAMS の投稿状況について現在 10 本の論文について査読を進めていることが報告された。
5. 他学会への協賛について : 他学会への協賛について報告された。

---

## 平成 26 年度第 5 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時 : 2015 年 4 月 25 日 (土) 15 時 00 分~18 時 00 分
- II. 開催場所 : 関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール
- III. 出席者 : 石井, 小田, 板倉, 今井, 金子, 佐藤, 鄭, 田畑, 林, 原田, 松岡, 毛利, 柳田, 浅井, 石田, 上原, 佐々木, 椎原, 西口, 山下 (監事) 松丸 オブザーバー 川中, 村山, 和多田 (敬称略)
- IV. 審議事項
  1. 平成 26 年度第 4 回理事会議事録の確認(毛利) : 平成 26 年度第 4 回議事録の内容が報告され, 原案の通り承認された。
  2. 第 55 回全国研究発表大会について(和多田) : 第 55 回全国研究発表大会は開催案について説明がなされ, 9 月 2, 3 日に北九州国際会議場にて開催することとなった。
  3. 会員の入退会(毛利) : 入退会の状況について説明がなされ, 承認された。これにより, 正会員 516 名, 学生会員 119 名となった。
  4. 第 54 回全国研究発表大会の準備状況について(村山) : 第 54 回全国研究発表大会の準備状況について説明がなされ, 承認された。
  5. 第 35 回通常総会議案書について (毛利) : 総会の資料作成状況について説明がなされ, 加筆・修正がなされた。今後の修正については会長, 総務委員長に一任することが承認された。
  6. 総会での役割分担について (毛利) : 総会の司会を上原理事とし, 書記, 議事録署名人の候補者は大会実行委員長に確保していただくことになった。
  7. 委員会細則改定案について (松岡) : 委員会細則改定案について説明がなされ, 承認された。
  8. 平成 26 年度決算・平成 27 年度予算について (田畑) : 平成 26 年度決算, 平成 27 年度予算について説明がなされ承認された。
  9. 学会賞・論文奨励賞について (林) : 学会賞・論文奨励賞について説明がなされ, 承認された。
  10. 研究部会申請について (毛利) : 研究部会の申請があったことが説明され, 研究委員会に諮ることをとなった。
  11. 総会・評議員会・理事会の開催通知について (椎原) : 総会と評議員会は現会長名で招集され, 理事会については新会長名で招集されることが確認された。なお, 評議員会は新会長, 新総務委員長が運営し, 理事会は新理事会であり, 総会は現理事会が担当する。
  12. ICBI について (石井) : 次回のハワイでの国際大会の開催について, 2017 年度開催に向けて準備していくことを確認した。
- V. 報告事項
  1. 他学会への協賛について : 他学会への協賛について報告された。
  2. 第 18 期の役員について : 第 18 期の学会役員について報告された。

---

## 経営ネットワーク研究部会のお知らせ

---

開催日時 : 2015 年 6 月 13 日 (土) 14:00~17:00

開催場所 : 横浜市立大学 金沢八景キャンパス 文科系研究棟 2 階第二会議室

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2  
[交通アクセス] 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分  
[http://www.yokohama-cu.ac.jp/access/hakkei\\_campusmap.html](http://www.yokohama-cu.ac.jp/access/hakkei_campusmap.html)

報告テーマおよび報告者：

テーマ1「日本とアフリカの稲作経営について」 会計検査院 小林佳愛  
テーマ2「葉山の地域デザイン戦略」 横浜商科大学名誉教授 立川丈夫

参加資格：どなたでも参加できます。人数確認のため、事前に連絡先にお申し込みください。

参加費：無料

その他：研究部会終了後、懇親会を行います。こちらへも多数のご参加をお待ちしています。

連絡先：幹事 永松陽明（横浜市立大学） [a\\_nagama@yokohama-cu.ac.jp](mailto:a_nagama@yokohama-cu.ac.jp)

<http://www.jams-web.jp/information/sectmn2015.html>

---

## 地域システム研究部会のお知らせ

---

主査 田平 由弘

日本経営システム学会 地域システム部会、RIMOT（立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 校友会）共催で以下の研究会を企画しております。今回は、社会課題をビジネスで解決する上で欠かせない「公的機関の活動」を紹介していただきます。その上で、最近注目されている途上国の農業分野に今後どう取り組むかを議論できればとおもっております。なお、本研究会は会員に限らず広く一般に公開しておりますので、どなたでも参加可能です。また当日研究会終了後懇親会を行います。奮ってご参加のほどよろしくお願い致します。会場設営の関係上、ご参加いただける方は6月15日までに以下より申し込みのほどよろしくお願いたします。

主催：日本経営システム学会 地域システム部会

RIMOT（立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 校友会）

日時：2015年6月18日（木）19:00-20:30

場所：立命館大学 大阪梅田キャンパス

テーマ／講師：JETRO BOP 班の役割と課題 / 日本貿易振興機構（JETRO）課長代理 藪中様

申し込み：<http://alumni.ritsumeiji.jp/rimot/?p=1076>

問合せ先：田平 由弘 ([yoshihiro\\_tabira@yahoo.co.jp](mailto:yoshihiro_tabira@yahoo.co.jp))

---

## 経営モデル研究部会のお知らせ

---

開催日予定日時：2015年6月27日（土） 14:00-16:00

発表予定者：張 東豪（神奈川大学）「部品展開を考慮したサプライチェーン・ネットワーク設計モデルの研究」（他の発表者の方も調整中）

開催場所：東海大学 高輪キャンパス 1号館 3F 1308 教室

連絡先：田畑 智章（東海大学） Tel.03-3441-1171 E-Mail:tabata@tokai-u.jp

金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

---

## ヒューマン・リソース研究部会のお知らせ

---

開催日予定日時：2015年8月1日（土） 14:00-16:00

発表予定者：未定

開催場所：日本大学 生産工学部 30号館 5F 小田部研究室

連絡先（幹事）：金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

## 第 18 回日本ロジスティクスシステム学会全国大会ご案内

大会テーマ：「サプライチェーンマネジメント革新に向けての課題と展望」

期 日：平成 27 年 7 月 11 日（土）～12 日（日）

11 日（土） 午前：理事会、総会 午後：大会（特別講演 1、基調講演、論文発表） ネットワーキング

12 日（日） 午前：大会（論文発表、特別講演 2） 午後：大会（論文発表）

公開講演：11 日（土） 16:00-17:00 特別講演 1「成熟化時代における地域戦略とサーラグループ」

神野 吾郎 氏（サーラグループ 代表取締役社長）

17:10-18:00 基調講演「日本のマーケットシュリンクと ICT 活用の重要性について」

石田 雄太 氏（ソフトバンクテレコム株式会社 営業開発本部担当部長）

12 日（日） 11:00-12:00 特別講演 2「トヨタ生産方式の逆襲」

鈴木 尚久 氏（株式会社エフ・ピー・エム研究所 代表取締役）

会 場：豊橋創造大学 〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下 20-1

共 催：豊橋創造大学、日本ロジスティクスシステム学会

協 賛：日本経営システム学会、日本経営システム学会中部支部、日本知能情報フェジィ学会

後 援：豊橋市、豊橋市教育委員会、豊橋商工会議所、豊橋観光コンベンション協会

大会参加費：公開講演会は無料（学会へ参加の場合、協賛学会会員 12,000 円、協賛学生会員 6,000 円）。

学会参加費にはネットワーキングが含まれます。様々な参加形式が可能ですのでご相談ください。

振込先：三菱東京 UFJ 銀行 普通 0040878 口座名：日本ロジスティクスシステム学会 今井正文

振込期限 7 月 3 日（金）。期限後に振込された方は控え等をお持ち下さい。当日受付もあります。

問合せ先：実行委員長今井正文 mimai@sozo.ac.jp <http://www.jams-web.jp/information/jsls2015.html>

## 入会者リスト

(2014. 3. 25～2015. 5. 29)

### 1. 正会員入会者

氏 名	所 属	氏 名	所 属
村上 智信	東北大学	垣内 洋介	広島工業大学
北 真收	岡山大学 大学院	石井 成美	愛知工業大学
税所 哲郎	群馬大学	青島 弘幸	愛知工業大学 大学院
北川 敬一	立命館大学 大学院	鈴木 博人	神奈川大学
竹中 嘉久	愛知工業大学	高橋 宏誠	エスト

### 2. 学生会員から正会員へ変更

氏 名	所 属	氏 名	所 属
山下 遥	早稲田大学	山内 康輔	日本アイ・ピー・エム・サービス
下林 大造	明治大学 大学院	秋山 佑介	レティナス
安松 大悟	明治大学 大学院		

### 3. 学生会員入会者

氏 名	所 属	氏 名	所 属
野末 卓	名古屋工業大学 大学院	新海 しおり	愛知淑徳大学
丹羽 正樹	名古屋工業大学 大学院	渡辺 肇	横浜市立大学 大学院
洪 永勲	東京大学 大学院	張 海洋	千葉工業大学 大学院
藤吉 和樹	東海大学 大学院	呉 宏偉	広島大学 大学院
シャトナンキット パージャーリー	東海大学 大学院	牧野 和彦	愛知工業大学 大学院
田村 貴浩	愛知淑徳大学	笠原 祥平	東京情報大学 大学院
田代 淳也	愛知淑徳大学	三村 和香	京都工芸繊維大学 大学院
孝治 実季	愛知淑徳大学	倍田 真奈美	摂南大学

受付番号 \_\_\_\_\_

# 日本経営システム学会 研究発表申込書

## 平成 27 年度 第 55 回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ( )	2. ( )
当日の口頭発表者には*を付す	3. ( )	4. ( )
研究部会名 (研究部会発表の場合)	代表者名: ( )	

発表要旨 (200 字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)				

- 注：1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。  
2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)  
3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



## 日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703  
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185  
E-Mail:keieisys@hh.ijj4u.or.jp